令和元年度　学校だより　10 月号

切磋琢磨

令和元年 9 月 27 日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町　1073-1
TEL　(0573) 25-5261

四声が共鳴した東中黄金期の体育大会

校長　伊 藤 勝 彦

去る 9 月 14 日、さわやかな秋空の下、令和最初の恵那東中学校体育大会が多くの来賓、保護者、地域の皆様方の参観のなかで行われました。今年度体育大会スローガン「四声（応援の声、呼応の声、励ましの声、認め合いの声）～4 軍の共鳴で築く黄金期体育大会～」のもと、紅軍、青軍、緑軍、白軍の 4 軍が優勝をめざしてすばらしい競技や応援が繰り広げられました。

9 月に入り、晴天が続き、例年に比べ充実した取組が行われました。朝は 7 時 35 分頃から学級での大縄跳びの練習です。学年練習や体育の授業では、リレーの練習が中心に行われました。とりわけバトンパスの練習に時間が割かれました。当日はリレーゾーンを最大限活用した実に見事なバトンパスがどの学年でも行われていました。それが迫力のある質の高いリレー競技につながりました。昼休みも学級で大縄跳びの練習です。そのために生徒会では給食委員会が動き、すばやく美しい配膳に加えて片付けにも重点を置き、昼休みの練習時間を確保しようとしました。昼休み後は掃除です。生徒はグランドから掃除場所にすばやく移動し、静かに整列して掃除が始まります。体育大会の取組期間だからといって掃除が疎かにはなりません。暑い中、練習で疲れているにもかかわらず無言で黙々と掃除をする姿がありました。これも日常生活を疎かにしない今の東中学校です。日常生活の質が高ければ行事の質も高くなります。日常生活の質の向上こそ、すべての活動の質の向上につながることを生徒たちは理解し始めています。これが黄金期の東中学校を創っています。帰りの会後、軍練習が始まります。生徒は団長をはじめ軍リーダーの呼びかけの声に応え、駆け足で校舎から団席に向かいます。すばやく整列し服装点検後、生徒会執行部や団長からの目標が語られ練習が始まります。3 年生の軍リーダーを中心とした指示やリードで「お足つないで」の練習が始まります。かけ声の方法や足の揃え方など、どうすれば速く走れるようになるのかを的確に助言する姿がありました。生徒たちは軍練習を重ねるごとに走るグループが多くなり、それに速さも加わっていきました。総練習では、体育大会当日、自分たちの力でやりきる自治の体育大会にするために課題点や修正点を明確にして、その後の練習に生かそうとしました。

そして、いよいよ体育大会当日です。天候にも恵まれ、黄金期の恵那東中学校にふさわしい躍動感溢れるすばらしい体育大会になりました。生徒はどの競技にも最後の最後まで全力を尽くします。その姿に勝敗にかかわらず温かい声援の声が飛び交います。競技はいずれも質の高いものでした。午後からの大縄跳びでは、各学級が最高記録を出したり、3 年生では規定の 3 分が過ぎても跳び続けたりしていました。全学級が 100 回を超えるなど興奮する場面の数々でした。係を担当する生徒たちは自分の役割を果たそうとそれぞれの仕事を精一杯の姿でやりきりました。各軍は全員が応援の声を出したり、競技の結果発表の後の工夫ある反応をしたりして、軍の一体感、全校の一体感を感じさせるものとなりました。4 軍の 4 つの声が飛び交い、その声が共鳴し合う、すばらしい体育大会となりました。結果は緑軍の総合優勝でしたが、閉会式では、生徒一人一人の笑顔が満ち溢れた令和最初の恵那東中学校の体育大会が幕を閉じました。

お忙しい中、保護者の皆様、地域の皆様方には、早朝より、生徒への温かいご声援をいただき誠にありがとうございました。現在、東中学校では、第 4 ステージ後半に入り、体育大会の成果を生かす前期の締めくくり活動が行われています。今後は、前期の振り返りの後、後期の組織づくりに移ります。引き続き、東中の生徒への温かなご声援とご支援をよろしくお願いします。